

223号の
主な記事

- 第3回定例会概要、議員提出議案の概要..... 1 ページ
- 議案、請願・陳情の処理状況..... 2 ページ
- 代表質問、一般質問..... 3～5 ページ
- 決算特別委員会の概要..... 6～8 ページ

第3回定例会日程

9月26日	議案上程、委員会付託
28日	代表質問
29日	一般質問
30日	
10月3・4・6・7日	決算審査
11・12・17日	
18日	議案審査
19日	請願・陳情等の審査
27日	委員会報告及び表決

平成28年第3回定例会

平成27年度各会計歳入歳出決算を認定

補正予算を含む11議案と「北朝鮮による核実験の強行に抗議する決議」を含む意見書2件を可決

平成28年第3回定例会は9月26日から10月27日までの32日間の会期で開きました。

この定例会には区長から、総額46億2000万円余を計上した一般会計補正予算及び特別会計補正予算を含む議案11件、報告9件が提出されました。

平成27年度各会計歳入歳出決算については、決算特別委員会を設置し、区政の課題など詳細にわたり審査を行いました。

決算の認定を含め、これらの議案はいずれも原案のとおり可決しました。

また、議員からは「北朝鮮による核実験の強行に抗議する決議」を含む2件の議案を提出し、それぞれ可決しました。意見書は関係機関に送付しました。

この定例会の会議録は、1月中旬に出来上がります。会議録の詳細は、区議会ホームページ、お近くの図書館、または区議会事務局をご覧ください。



一之江抹香亭 (撮影: 野寺治孝)

議員から出された議案

—意見書は各関係機関に送りました—

○「同一労働同一賃金」の実現を求める意見書

〔内閣総理大臣、厚生労働大臣 あて〕

今後急激に生産年齢人口が減少していく我が国において、多様な労働力の確保とともに個々の労働生産性の向上は喫緊の課題であり、雇用の形態にかかわらず均等・均衡待遇の確保が益々重要になっている。

日本独自の雇用慣行や中小企業への適切な支援にも十分に留意し、非正規雇用労働者の活躍の可能性を大きく広げる「同一労働同一賃金」の一日も早い実現のため、不合理な待遇差を是正するためのガイドラインを早急に策定するとともに、不合理な待遇差に関する司法判断の根拠規定を整備することなどを国に求める。

北朝鮮による核実験の強行に抗議する決議

北朝鮮は9月9日に5回目となる核実験を強行した。このことは、我が国の安全に対する深刻な脅威であり、北東アジア及び世界各国の平和や安全保障に対する重大な挑戦である。

かねてより、国際社会は北朝鮮に対し、国連安保理決議を遵守し、さらなる核実験やミサイル発射などを行わないように強く求めてきた。

また、北朝鮮が本年1月に核実験を強行し、2月には人工衛星と称する弾道ミサイルを発射したことを受けて、国連安保理は本年3月にこれらを強く非難するとともに、制裁を大幅に拡大・強化する内容の国連安保理決議を採択した。

これを無視して行われたこの度の核実験は、国連安保理や世界中に広がる核不拡散体制に対する重大な挑戦であると受け止めるほかにはない。

我が国は、世界で唯一の被爆国であり、世界中に核の恐ろしさと、長く続く絶望の道を知らしめ、「核なき世界」の実現を強く訴えてきた。

また、核を廃絶し恒久的な平和を望む国民の総意を受け、いかなる国の核兵器に対してもその廃絶と、すべての核実験禁止を求めてきた。

この度の北朝鮮の核実験は、核廃絶と平和を求める世界中の人々にとって、許し難い暴挙であり、断じて容認できるものではない。

よって、江戸川区議会は、北朝鮮の核実験に対し断固として抗議し、北朝鮮が今後すべての核兵器と核計画を放棄することを厳に求めるものである。

以上、決議する。

平成28年10月27日

江戸川区議会

議案等の概要と結果 (○…賛成、×…反対)

会派名：公明…公明党、自民…自由民主党、民進…民進党、共産…日本共産党 自由…江戸川自由民主党 江戸…江戸川クラブ、生ネ…生活者ネットワーク

(議長を除く 計43名)

Table with columns: Item Name, Summary, Party (公明, 自民, 民進, 共産, 自由, 江戸, 生ネ, 須賀),赞成, 反対, 結果. Includes sections for '区長提出議案' and '議員提出議案'.

※1 民進党は、会派拘束を解き、採決にあたりました。 ※2 不採択に賛成ではかり不採択。

皆さんから出された請願・陳情

Table listing petitions and requests with columns: Item No., Description, Committee (付託委員会), and Status.

区政への質問

9月28日に代表質問、29日に一般質問が行われ、区政全般の課題について活発な論議が展開されました。ここでは質問と答弁の要旨を掲載します。

代表質問

食品ロス削減に向け、 区を挙げて強く推進を!!



公明党
田中 じゅん子

問 今後予想される厳しい財政状況等を踏まえ、区政運営をどのように進めていくのか。

答 健全財政を維持し地域力を活かした誰もが誇りを持てるまちづくりに取り組んでいく。

問 大規模水害対策について

①江東5区大規模水害避難等対応方針の広域避難を実現するための今後の取り組みは。

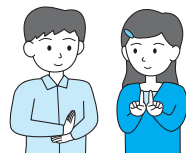
②集中豪雨対策のさらなる取り組みを。

答 ①江東5区広域避難推進協議会を発足し、広域避難の具体的な課題について協議していく。

②下水道能力の強化や土のうステーションの増設、気象庁と連携した気象情報システム活用の普及啓発を行っている。

問 手話言語条例の制定についての考えは。

答 手話に対する区民の十分な理解が重要であり、条例の意義を踏まえ、研究を進める。



手話言語条例の制定

問 本区で開催予定の東京五輪カーヌー・スラム競技への取り組みについて

①今年度から開催されている区民カーヌー教室の実績と今後の区民への啓発の取り組みは。

②新左近川親水公園のカーヌー場の整備時期と内容は。

答 ①今年度のカーヌー教室では合計2600人の参加があり、2020年までに区内全小学校で実施予定である。また、各地域のイベントでブースを出展し、PRを行っている。

②2019年度までに利用開始ができるよう、更衣室や倉庫の設置等を含めて、カーヌー協会等と計画案を作成している。区民や国内外の競技選手が活用できる施設整備を進める。

問 食品ロス削減に向けての取り組み

①家庭でできる食品ロス削減の普及啓発を。

②食育推進連絡会を通して食品ロス削減の推進を。

③小・中学校等で学校給食や環境教育等を通じた食品ロス削減に向けた普及啓発を。

答 ①食品ロス削減は重要なことであり、まずは身近なところから普及啓発を進めていく。

②食育推進連絡会で関係機関とさまざまな分野から情報共有を行っている。また、食品衛生協会と協力し、食べきり推進展や食品衛生講習会等での普及啓発を図る。

③平成21年からの「学校版もったいない運動」等により平成18年と比較し、食べ残しは3分の2まで減量した。今後も関係部署と連携し、食品ロスの削減に取り組んでいく。

問 小・中学校での道徳及び英語の教科化の全面実施に向けた準備状況は。

答 道徳教育推進教師養成講座に参加した教員

を中心に各校で指導内容等の共通理解を図っている。また、国や都が作成している副読本の活用も指示している。外国語教育については文科省が行う研修に参加した教員が各小学校の教員一名ずつを集め、研修を行い、指導力の向上を図っている。

問 学校用務員の民間委託に関して、資質の確保及び向上などについてより丁寧な検討を。

答 委託業者の資質を十分に確保し、平成30年から学校用務の民間委託を検討している。

大規模水害に備えた体制を! 松島にコミュニティ施設新設を!



自由民主党
渡部 正明

問 江戸川区政50年史編纂時の思いと区長就任から18年目を迎え、未来の区への想いは。

答 50年史は区民とともにさまざまな困難を乗り越え、近代都市としての姿を整えてきた証、貴重な資料である。本区の地域力を活かし、区民の皆様と課題を共有していく中で理想の都市像が生まれていくと考えている。

問 公共施設について

①新庁舎建設候補地の船堀四丁目都営地の取得に向けた東京都との交渉状況は。

②老朽化した公共施設の建て替え計画は。また、スポーツランドのスケート場の通年化を。

③松島四丁目都営地の取得等の現状は。

答 ①東京都の都市整備局長と財務局長と話した土地取得について早期に回答を得られるよう引き続き働きかけをしていく。土地取得の了承を得た後、周辺の開発を含めて進めていく。

②スケートリンクの通年化については認識しており、隣接する都営地の活用と併せて、公共施設等の整備・適正配置を検討していく。

③土地の活用方法について地域の方と幅広く議論しており、公共施設の整備計画の中に位置づけることを含め検討していく。



公共施設について

問 江戸川区長期計画の中の安全快適なまちづくりについて

①江東5区大規模水害対策協議会で協議された広域避難についての具体的な検討の進め方は。

②地区計画の制限により2階建ての建物しか建てられない状況の地域などについて、用途地域の見直しを。また、まちづくりにより市街地化した地区の緑地指定の解除を。

③本一色周辺の事業を進めるにあたり、本区と葛飾区、地域住民と一体となったまちづくりの推進を。また、道路と細街路の角地におけるセットバック義務付けの法整備を。

答 ①大規模水害時のさまざまな課題を抽出し、具体策を検討する。区民の理解を深め、実現性のある対策を検討していく。

②用途地域は地区計画の策定と連動しながら変更していく。江戸川緑地はスーパー堤防事業

を進める中で残す必要があると考えている。

③地域住民や葛飾区と協議し、防災に強いまちづくりを進める。細街路については、重点拡幅整備路線の指定など積極的に進めていく。

問 本区独自の採用から23区共通の試験への切り替え及び職員の積極的な人事交流を。

答 独自採用は、これまで特別な支障はなく、現制度を継続していく。職員の見識をひろげるため、研修や派遣等について検討していく。

我々自身は、食べた物 によって作られている。



民進党
金井 しげる

問 食の改善について

①現在、全国の糖尿病患者は950万人、認知症患者は462万人おり、糖尿病と認知症には深い因果関係があることが発表されている。認知症予防の一つとして糖尿病を防ぐための食生活の改善があるが、今後の対策は。

②低血糖症の状態は栄養素の不足により、脳の機能に異常をきたし、精神や心にも影響がおよぶことが考えられる。低血糖予防のためにどのように日常の食生活を改善すべきか。

③戦後、食生活の変化によってガンや糖尿病などが増加の一途をたどっているが、食と健康についてどのように考えるか。

答 ①認知症の予防には食生活のみならず、運動や社会交流を含めた生活習慣が大切であり、今後もこれまで同様に認知症予防への取り組みを続けていく。

②低血糖は集中力の低下や攻撃的になるなどの症状も認められている。血糖値を適正に保つためにバランスの良い食事を規則正しくとることが重要であると考えている。

③食文化の大切さや食環境を整えること、また、健康につながる食事などの普及啓発を行い、区民の健康づくりに取り組んでいく。

問 禁煙同様に受動喫煙の防止は喫緊の課題である。本区においても受動喫煙防止対策を。

答 ポスターによる啓発や今年度から小学校でのがん予防出前教室を実施し、子どもから親への啓発に取り組んできた。また、ファミリー健康アップ事業として乳児健診時に子どもに与える影響を伝えている。喫煙は生活習慣病の最大の要因であり、今後も喫煙者を含め、受動喫煙の健康被害の意識啓発を進める。



受動喫煙防止の取り組み

スーパー堤防で区画整理がいびつに、介護保険充実を



日本共産党
須田 哲二

問 介護保険制度の見直しについて

①国の介護保険制度の見直しに対する考えは。

②第7期介護保険事業計画で、これまで通りの総合事業を継続できるように検討を。

③今後の特養ホーム増設計画は。

- ③ ①介護保険制度を継続するためには、ある程度の見直しが必要であると考えている。国の社会保障審議会の議論を注視していく。
- ②介護保険事業計画等改定検討委員会の中で関係者と総合事業について検討していく。
- ③地域包括ケアシステムにおける在宅介護の取り組みや保険料とのバランスを見ながら整備について検討していく。



介護保険制度の見直しについて

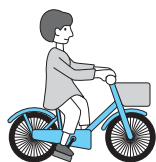
- ④ スーパー堤防について
- ①スーパー堤防事業を中止し、予算も時間も住民負担も少ない堤防強化・治水対策を。
- ②北小岩一丁目東部地区の余剰地売却の現状は。本来の事業目的に反するとは考えないか。
- ③上篠崎一丁目北部土地区画整理事業で浅間神社は盛土せず、妙勝寺を盛土する理由は。
- ④ ①国の方針に従い、災害に強いまちづくりを進めていく。
- ②通常画地は関係者に優先的に売却し、残った土地は一般売却する。大規模画地は福祉施設としての利用を考えている。区有地は保留地として位置付けておらず、有効活用する。
- ③妙勝寺は全体が盛土区域の対象となっているため移転が必要になる。浅間神社は一部が対象となっているため、移転等の負担が最小となるよう整備計画を行った。
- ④ ハザードマップや暮らしの便利帳に、詳しい水害時避難情報等の掲載を。
- ⑤ 区民の主体的な避難のため、暮らしの便利帳の活用等も含め、情報提供に努める。



災害対策の更なる充実。大学等教育施設の誘致の実現を

江戸川自由民主党
高木 ひでたか

- ④ 災害対策について
- ①災害時の対応経験が豊富な自衛官OB等の採用で危機対応の手助けを。避難所開設の際に町会・自治会の組織の活用を。
- ②江東5区大規模水害避難等対応方針で整理された広域避難の課題への今後の対応は。
- ③福祉施設等において災害対策マニュアル等の作成を。
- ④ ①地域や関係機関と連携し、総力を挙げた対応が必要。今後も災害対応の向上に努める。
- ②広域避難推進協議会の中で具体的な内容を協議していく。また実行性を高めるため、広域避難についての区民の理解促進に取り組む。
- ③国からの通知に基づき、今後は風水害・地震対策も含め災害対策計画の策定を検討していく。
- ④ 自転車対策について
- ①自転車事故を減らすため、さらなる自転車の走行マナーの向上への取り組みを。



近隣区と連携した「自転車シェアリング」の導入

- ②自転車損害賠償責任保険等の必要性について、年齢層に応じたわかりやすい周知を。
- ③夜間の駅前の放置自転車対策の推進を。
- ④近隣区と連携する「自転車シェアリング」導入に向けた取り組みの現状と今後の展開は。

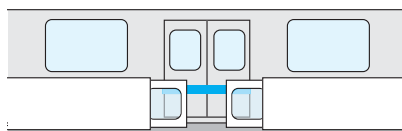
- ④ ①ブルーレーンの整備を進め、交通安全教室等で、マナーの向上を図っていく。
- ②昨年は各駐輪場でPRを行った。今後は自転車販売店に働きかけ、保険加入促進を進める。
- ③撤去方法を工夫し、放置自転車「0」を目指す。
- ④東京五輪開催を見据え、自転車ポートの設置や相互乗り入れ等について検討していく。
- ④ 民間事業者と連携し、河川敷の有効活用を。
- ④ 区民の皆様が満足していただけるような有効な活用方法を研究していく。
- ④ 学校跡地等の活用方法として大学等の教育施設の誘致を。
- ④ 今後さまざまな条件が整ってくれば、実現に向けて積極的に検討を進めていく。
- ④ 道徳の教科化に向けた本区の取り組みは。
- ④ 「道徳教育推進教師」を養成し、校内で指導内容の共有・理解促進を図っていく。



五輪推進、福祉・子育て・介護 安全な街、教育、地域元気政策!

江戸川クラブ
笹本 ひさし

- ④ オリンピック・パラリンピック関連について
- ①東京五輪に関連した区独自の教育推進を。また、人格形成等にもたらす効果は。
- ②ラグビーワールドカップのキャンプ地誘致を。
- ③東京五輪閉会式の前日に花火大会の開催を。
- ④ ①レガシー創造プランを基に、取り組みを実施している。この機会を捉え、ボランティア精神や障がい者理解等の資質向上を図る。
- ②施設が長期間使えなくなるため実施は難しい。関係団体と連携し、機運醸成を図っていく。
- ③関係機関と調整が必要であり、研究を続ける。
- ④ 児童相談所の設置に向けた検討組織等の状況は。また、設置による改善点は。
- ④ 23区では平成24年に検討組織を、本区では平成25年に検討会議を発足している。相談対応の一元化や総合的な児童相談行政、区民等との連携による迅速な対応が可能となる。
- ④ 子育て支援・保育等について
- ①最優先で取り組むべき待機児童対策は。
- ②認可外保育施設の利用者の負担軽減制度を。
- ④ ①保育所の整備だけでなく、同時に、育児休業の延長などの働き方改革が重要である。
- ②認可保育園に準じる認証保育所へ支援しているが、それ以外への支援は現在考えていない。
- ④ 安心安全なまちづくり等について
- ①鉄道事業者へ早期のホームドア設置の要望を。
- ②北小岩地区の大型車両交通規制時間の延長を。
- ④ ①早期設置に向け事業者と協議している。
- ②交通規制時間の延長及び「ゾーン30」の導入を小岩警察署に申し入れている。



安心安全なまちづくり

- ④ 小学校での英語授業導入に向けた方針は。また、道徳の教科化に向け、評価への考えは。

- ④ 国際社会に対応できる人材の育成に取り組む。数値ではなく記述による評価等、学習指導を各学校に周知し、指導の充実を図る。
- ④ 介護保険制度の見直しに対する考えは。
- ④ 消費税の課題等の国の動向を注視する。
- ④ ルドルフとイッパイアッテナと本区のPRに関し、フィルムコミッションを活用し映画等とタイアップすることで、積極的に本区のPRを。
- ④ 地域密着の作品を活用し、区のイメージアップにつなげていきたい。

一般質問

子どもの生命を守り、誰もが安全・安心な街づくりを!



公明党
関根 まみ子

- ④ 区独自の児童相談所の設置に向けた決意と今後の準備の進め方は。
- ④ 施設や人的体制、地域をあげた協力体制などの課題はあるが、完璧な体制づくりに努める。
- ④ 平成28年4月生まれの子どもへのB型肝炎ワクチン接種の時的措置を。また、3歳児未満の幼児に対する費用の一部助成を。
- ④ 4月生まれの子どもに対する接種期間の課題については検討している。対象拡大は経費の問題があり、まず1歳までの接種勧奨を積極的に行う。
- ④ 各種健診の受診促進への取り組みについて
- ①区民健診受診促進のさらなる取り組みを。
- ②がん検査キットの送付や検査センター内での一時子ども預かりの実施など、がん検診受診率向上への取り組みを。
- ④ ①これまでも丁寧な受診勧奨を行ってきたが、本人の自覚が必要である。さらなる受診勧奨については費用対効果を検討していく。
- ②無料でがん検診を実施しているが、受診率は10%から伸びていないため、費用などを考慮し、がん検診の取り組みを検討していく。
- ④ 一人暮らしの熟年者を支える仕組みについて
- ①「なごみの家」の今後の取り組みは。
- ②「なごみの家」の運営のあり方は。
- ④ ①熟年者のみの世帯等にPRを行っている。運営は多くのボランティアに支えられており、地域とともにさらなる発展を目指す。
- ②現在、運営は社会福祉協議会だが、地域のさまざまな方の専門的な立場からの支えがあり、運営は行政に限定されない。新規開設の運営主体は公募での選定を考えている。
- ④ 熊本地震の教訓による今後の災害対策について
- ①熊本地震を踏まえ、対応方針が発表されたが早期に着手する必要がある課題への取り組みは。
- ②罹災証明書の発行に係る人手が足りない場合の人員確保に対する考えは。
- ③女性の視点を活かす避難所運営を。
- ④ ①これまで手つかずにされていた課題の早期実現に取り組んでいく。
- ②計画の作成や発行に必要な人員を算出し、他自治体と連携した人員の確保等に取り組む。
- ③女性の視点を盛り込んだ実践的な訓練を重ねていくことが重要であり、今後も取り組みを進めていく。

読書教育の今後の方向性について

- ①5年目となる読書科の今後の取り組みは。
 - ②学校図書館運営の中心的存在である「学校司書」の拡充を。
 - ③ビブリオバトルの積極的な開催を。
- 答 ①教育課題実践推進校の研究成果を区内の全小中学校に普及させていく。学習指導要領の改訂を踏まえ、展開を検討していく。
- ②学校図書館活用推進校の成果や課題について、分析や検証をしていく。
- ③実施校の情報提供や指導事例集の配布など、各学校で取り組みが充実するよう支援していく。

相続で売却される町会 不動産購入の融資創設を



自由民主党
中山 たかひと

- 本区の町会・自治会は高齢化が進んでおり、行事等を続けていくには肉体的・体力的に困難になりつつある。ボランティア推進区として、ボランティア活動や町会・自治会活動が活発に行われるよう、町会・自治会の役員募集に対する支援を。
- 答 今日の江戸川区の素晴らしい地域力は、町会・自治会の役員をはじめ、多くの方々の取り組みの結果によるものである。問題解決の手伝いができることがあれば積極的に行う。
- 土地の相続等により、町会会館がない町会・自治会や老朽化により建替えを検討している町会・自治会に対して、認可地縁団体法人とすることを前提に金融機関と提携し、融資制度の創設を。
- 答 より良い形で解決していかななくてはならないと考えている。できるだけ個々のケースをお聞きしながら、早急に前向きな答えが出せるよう努力していきたい。
- 地域包括ケアシステムの拠点として、今年の5月より開設された「なごみの家」の利用状況等の経過は。
- 答 これまで居場所・交流の場として一日平均48人の方にお越しいただいている。一日当たりの「何でも相談」は1日2件、子ども食堂は合計参加者が143人、学習支援は117人である。テレビ局や新聞社からの取材や全国の自治体から視察が来るなど、運営は順調である。また、国のモデル事業にも選ばれ、補助金もいただいている。今後も社会福祉協議会や地域の皆様と協力し、さらなる発展を目指していく。
- 首都直下型地震や大規模水害を想定し、危機管理体制をさらに高め、区民が安心して暮らせる災害に強いまちづくりを。
- 答 震災と水害では対応方法が異なるが、どちらも重要であるため、さまざまな方法を研究していく。災害対策には際限がないため、一つ一つの取り組みを深め、地域とともに安全なまちづくりを目指し、より一層の努力をしていく。

学校介助員の通年雇用 LGBT専門部署の設置



民進党
神尾 てるあき

- 学校介助員制度について
- ①学校介助員の夏休み期間の課題についての現状と今後の対策は。
 - ②要支援児童・生徒に配慮し、学校介助員の

通年雇用の実施を。

- 答 ①学校介助員が休みの8月については特別支援教育推進員を配置している。
- ②現在の制度では、同じ介助員を通年で雇用することは困難である。非常勤職員や委託など多角的な人的措置を検討していく。

LGBTについて

- ①LGBTに対する現時点での認識は。
 - ②LGBTの方が相談できる場として、LGBTに対応する専門部署の設置を。
- 答 ①性の多様性の理解を地域社会にどのように定着させるかが当面の課題である。
- ②人権問題については、人権擁護委員による人権相談を行っている。今後組織的な対応等、どのように取り組めるか検討していく。

ピオトープの推進について

- ①自然体験や憩いの場として、今後の公園整備と併せてピオトープの積極的な設置を。
 - ②ピオトープには子どもたちの自然への理解を深めるなど教育的意義があり、全国的にも設置する学校が増えている。本区でも学校教育におけるピオトープの推進を。
- 答 ①子ども達や地域住民に自然への認識を深めてもらう場として重要である。今後の公園改修等の中に積極的に取り入れていきたい。
- ②学校へのピオトープの設置には場所や規模などさまざまな課題がある。今後もエコセンターと協働し、環境教育を推進していく。

待機児童解消、LGBTと 人権の啓発、学校統合慎重に



日本共産党
牧野 けんじ

- 待機児童解消と保育の質及び保育士の確保について
- ①隠れ待機児童の実態を踏まえ、1000人規模の目標で認可保育所の増設を。
 - ②保育の質を確保するため、地域型保育事業施設の指導監査は開所後3年は毎年実施を。
 - ③保育士育成給付金制度創設の検討を。保育士賃金の公定価格見直しを国等へ要望を。
- 答 ①保育施設の増設だけでなく、育休を取得しやすい社会づくりなどの推進が重要である。
- ②今後の増設を見据え、効果的・合理的な指導監査の方法を探求し、適切に対処していく。
- ③保育士の処遇改善について、区長会から厚生労働大臣あてに要望を出している。保育士の確保については多方面から研究をしていく。
- 性的マイノリティ・LGBTと人権について
- ①広報紙やホームページで相談窓口の案内を。
 - ②区民向け講座の実施及び学校での啓発を。
 - ③パートナーシップ制度実施に対する考えは。
- 答 ①相談窓口について広報等で周知している。分かりやすい検索方法等を検討していく。
- ②区民向けの講座は実施時期や方法など検討を深めていく。学校現場では教員に対してさまざまな人権教育研修を行っている。
- ③法律の制約等の課題について研究していく。
- 上一色地域の学校統合について
- ①学校統合について教育委員会で議決した理由は。
 - ②保護者や地域からの統合への反対意見にも耳を傾け、期限を区切ることなく対応を。
- 答 ①これまでの経験を踏まえ、教育委員会で意思決定をした根拠となるよう議決した。
- ②時期に応じて提案をしていくことは必要で

ある。今後も関係者と丁寧に協議を進めていく。

障がい者差別解消・空き家活用 B型肝炎予防接種について



生活者ネットワーク
伊藤 ひとみ

障がい者差別解消について

- ①江戸川区障害福祉計画への評価と計画を踏まえた改善及び評価結果の公表方法は。
 - ②障害福祉計画の作成時に、丁寧な実態調査等の実施及び障がい当事者の参加の保障を。
- 答 ①3年ごとに作成する計画の中で実績等の分析をしており、冊子やHPで公表している。
- ②間接的に参加の機会を設けているが、研究する。
- 空き家の活用について
- ①区民との協働についての区の考えは。
 - ②市民活動の拠点のボランティアセンターに空き家活用の中間支援組織としての機能を。
 - ③区民参加で空き家活用の協議会の設置を。
- 答 ①町会等と連携し、地域活性化を図る。
- ②重要な情報源という位置づけを進めていく。
- ③現在の検討会に専門家を加え、進めていく。

乳児へのB型肝炎予防接種について

- ①感染経路及び乳幼児のキャリアの現状は。
 - ②アレルギー及び接種するしないの選択への対応と予診票における注意喚起の現状は。
- 答 ①妊娠・出産や家族、保育園での感染。キャリアは減少しているが数は把握していない。
- ②予診票は23区共通。酵母アレルギーの記載なし。

多田区政の取り組み功績と 新たな課題を問う



無所属
須賀 清次

多田区政の取り組みについて

- ①財政の健全化や地域で子どもを育む「すくすくスクール」、「都市景観大賞」の受賞などのこれまでの功績に対する想いは。
 - ②乳幼児や高齢者、ペットを連れての避難を含めた今後の災害対策の進め方は。
- 答 ①これまでの功績は区民や議会が共育・協働の理念のもと、「すばらしい江戸川区」を目指してきた努力の結果であると考えている。
- ②ペットを連れての避難等の問題は避難所運営の検討課題であり、検討を続けていく。
- 新左近川親水公園沿いに紅葉を取り入れた新景観を創造し、新たな名所として整備を。
- 答 親水公園沿いの紅葉川高校は、皇居にある楓川を校名にいただいたため、校門付近に紅葉を植えた経緯がある。
- 児童相談所設置に向けた区長の願いは。
- 答 子どもの幸せのために、設置に向けて最善を尽くす決意である。
- 全小中学校へ特別支援教室を設置するにあたり今後期待される効果は。
- 答 平成30年度特別支援教室の全小中学校設置に向け、今年度2地区で先行実施している。多くの児童が指導を受けやすくなり、また、保護者負担の軽減などの効果も考えられる。
- 全国から視察に訪れる議員の受入に当たり、区議会事務局へ庁用車の購入を。
- 答 現在区が所有する庁用車で対応しており、これまでと同様に対応していく。

決算特別委員会

決算特別委員会は、9月30日から10月17日までの間の8日間にわたり、一般会計と国民健康保険事業、介護保険事業及び後期高齢者医療の各特別会計について、予算が計画的かつ効果的に執行されたかを、これまでの決算調書に加え、新公会計による財務諸表など新たな資料を参考にし、慎重に審査を行いました。

委員会での審査を踏まえ、10月27日の本会議で採決の結果、平成27年度各会計歳入歳出決算は、賛成38・反対5で認定されました。

決算特別委員会委員 (◎委員長○副委員長)

- | | | | |
|----------|---------|--------|--------|
| ◎ うざわ悦子 | 野崎まこと | 中山たかひと | セバタ 勇 |
| ○ 斉藤まさたか | 牧野けんじ | 大橋みえ子 | 田中じゅん子 |
| 岩田まさかず | ます 秀行 | 須田 哲二 | 須賀 精二 |
| 中津川まさあき | 笹本ひさし | えぞえ亮一 | ふじさわ進一 |
| 小野塚あやか | 金井しげる | 中里 省三 | 島村 和成 |
| 神尾てるあき | 佐々木ゆういち | 高木ひでたか | 渡部 正明 |
| 本西 光枝 | 竹平ちはる | はやかわ和江 | |
| 伊藤ひとみ | 太田きみひろ | 田中 寿一 | |
| 栗原ゆたか | くぼた龍一 | 小俣のり子 | |
- 委員定数 20名 (委員の途中交代あり)



決算特別委員会の様子

平成27年度決算に対する各会派の意見

公明党 (賛成)

平成27年度決算審査にあたり、財政調整基金の取り崩しをせずに実質単年度収支の黒字を維持したこと及び健全化判断比率もすべて適値となり、健全財政を堅持してきたことを高く評価する。

その結果、区議会公明党として妥当なものとの結論に至り、平成27年度江戸川区各会計歳入歳出決算を認定する。

[主な要望]

- 本庁舎移転について、各担当部署が連携し、具体化の推進を。また、老朽化が進む大型公共施設のあり方についての審議を進め、本区の新たなまちづくりの推進を。
- 江東5区大規模水害対策協議会で方針が示された広域避難対応の実現に向け、国に対する働きかけを。
- LGBT等性的少数者への理解啓発やヘイトスピーチ対策法に対する取り組みを。
- 住宅等耐震化促進事業についての制度の周知、未耐震家屋2300戸への戸別訪問での案内と耐震改修工事費の助成額の引き上げを。
- 空き家調査の継続とそのデータ化及び対策検討会のさらなる充実を。
- 食品ロス削減に向け、「食べきり推進運動」フードドライブ等の取り組みの推進及び区民へのさらなる意識啓発を。



食品ロス削減の意識啓発

- 図書館において、赤ちゃん絵本や大活字本など各世代に合わせた蔵書の充実を。
- 「なごみの家」の区内全域への展開に向けて、

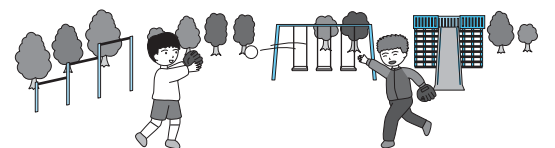
- ひとり暮らしや認知症の熟年者の増加など、さまざまな状況に対応できる体制の構築を。
- 障がい者差別解消への取り組みを。
- 手話言語条例の制定に向けた取り組みを。
- 発達障害相談センターの名称が、より親しみやすくなるよう、愛称の検討を。
- 待機児童解消に向け、さまざまな保育施設の増設と私立幼稚園の預かり保育の推進及び保育士の確保を。
- 児童相談所の移管に向け、関係機関との連携を深めるとともに、児童福祉司などの配置を含め、本区ならではの体制の構築を。
- 妊娠中の口腔ケアや歯科健診の重要性の周知と歯科診療所での妊婦歯科健診を。
- インフラ資産の整備について今後も効率的で効果的な維持管理に努め、国・都と役割を分担しながら、安全安心なインフラ整備、管理に一層の努力をし、低地帯にある本区の強靱化への取り組みを。
- 自転車走行環境の整備促進を。
- 教育用ICT機器の基本活用方法と情報モラル教育の推進を。
- 小学校の特別支援教室の全校展開に向け、保護者への説明や教職員への専門的な研修の充実及び巡回指導教員と担任との連携強化を。
- 学校のユニバーサルデザイン化の推進を。
- 子どもたちの幸福こそが目的であり原点であることを忘れず、子どもたちの成長支援に全力の取り組みを。
- 若い世代の特定健診の受診率向上と要医療の方の受診促進の強化及び電子レセプトデータを活用し、重症化予防事業のさらなる推進を。
- 認知症の方を暖かく見守る社会の構築及び関係機関が連携し、早期発見等適切な支援を。

自由民主党 (賛成)

区長の区政に寄せる情熱と使命感を多くの職員が体現し、区民と夢と笑顔を共有する区政運営が遂行されたことを理解し、平成27年度各会計歳入歳出決算に対し、賛意を表明する。

- [主な要望]
- 町会・自治会の催事周知等に有効活用できるよう、区広報掲示板の使用規定の改定を。
- 東京オリンピック・パラリンピック開催に向け、

- ボランティアとして多くの区民が参加できる取り組みを。
- マイナンバー制度の実施に伴うシステム改修の着実な実施と国へ適切な費用負担の要求を。
- 地域の実情に合わせた個別の災害対策を。
- 児童相談所の設置に向け、児童福祉司等の専門職の採用とスキル向上に向けた研修体制の構築を。
- 海外生活経験者等の人材活用により、本区の国際化に向けた取り組みの拡充を。
- 総合人生大学の卒業生が高い意識を持ってボランティア活動等に参加できるよう、さらなる支援を。
- 災害時対応や大型区民施設などでの経費節減効果を期待し、LED導入促進を。
- 悪質な振り込め詐欺を減らすため、警察と協力し、自動通話録音機の貸し出しを。
- 狂犬病予防やマナー向上のため獣医師会と連携し、ペットとの共生社会の推進を。
- がん検診受診率向上に向け、他区の事例を参考にするなど、さらなる工夫と努力を。
- 減塩大作戦を継続し、生活習慣病対策の充実のため、地域への出前講座の実施など、幅広い展開を。
- 保育現場と連携を深め、優秀な保育士の人材確保・育成へのさらなる支援を。
- JR小岩駅周辺再開発事業についてコンサルタントへの的確な指導など、地権者と地域の要望を活かすための努力を。
- 高砂車庫の移転候補地の整備の進展を機会に京成本線連続立体化事業の早期実現を。
- スーパー堤防事業の着実な推進を。
- 公園での禁止事項を一律にせず、面積や近隣環境を踏まえ、公園利用制限の見直しを。



公園利用制限の見直し

- 江戸川区の歴史・文化を教え、地域を愛する心、地域の素晴らしさを知ることにより郷土愛を育み、さらに国旗・国家を大切に、祖国を誇りに思う心を育む教育展開を。
- 学力向上を目指し、指導主事の増員を。

民進党(賛成)

区長のリーダーシップと先見性による区政運営が区民の安全・安心を守るだけでなく、期待と希望を生み出していることを高く評価する。今後も健全財政を堅持し、区民の声に耳を傾け、心に寄り添った区政運営の実行を要望し、平成27年度歳入歳出決算を認定する。

[主な要望]

- 江戸川区総合戦略の短期的な事業の進捗及び目標達成率の確認と議会や区民への報告を。
- パラリンピックを見据え、区内の各スポーツ施設で障がい者競技が盛んに行われるよう、施設のバリアフリー化等の推進を。



区内スポーツ施設のバリアフリー化

- 交通安全や防災活動など、さまざまな分野でエドレンジャーの活用を。
- 江戸川清掃工場建替えに対して、地元の意見を取り入れることや災害に対してより強固な工場となるよう清掃一部事務組合へ要望を。
- 受動喫煙防止への取り組みに対して、喫煙者と非喫煙者相互に配慮した取り組みの推進を。
- 「なごみの家」におけるボランティアのマッチング機能の強化を。
- 発達障がい児への理解促進や普及啓発の推進と大人の発達障がいのさらなる支援を。
- 認証保育所利用者への補助金制度の所得制限要件の緩和等、子育てしやすい環境の整備を。
- 公園への健康遊具、トレーニング器具の設置のさらなる推進を。
- 8月の夏休み期間の学校介助員の確保を。
- 不登校対策として、教職員のフォロー体制を整備し、児童・生徒ひとりひとりに向き合う、心に寄り添った支援の推進を。

日本共産党(反対)

決算審査にあたり、①区民に最も身近な区政として、区民の暮らしと福祉を守る立場に立っているか、②区民の貴重な税金の使い方ははじめ、公平で民主的な区政運営となっているか、③国や都の政治に対し、区民を守る立場を貫いているか、3つの観点で慎重に審議した結果、平成27年度決算の認定に明確に反対する。

[主な反対理由]

- 保育園に入れず困っている子育て世帯や認可外保育所に預けざるを得ないなどの保育園不足の現実を真摯に受け止めないこと。区立保育園保育士不採用で保育士の高齢化が進んでいることを認めながら実態を改善しようとしないうなど、子育て支援に冷たい姿勢。



区立保育園の保育士採用

○スーパー堤防事業と一体の区画整理事業で必要以上に土地を買収したこと。浅間神社は盛土せず、約500基の墓地がある妙勝寺は移転させるなど、大幅な国費・区費を浪費するスーパー堤防事業を進める姿勢。

○消費税増税やマイナンバー制度など国の政治に対する姿勢。10%増税時に使用料・利用料への転嫁。非正規雇用など官製ワーキングプアの拡大、技能労働者不足や区民の担税力底上げを図る公契約制度に背を向ける姿勢。

○子どもの貧困対策で就学援助の新入学用品を入学前に支給しない、すすくスクールの職員採用を行わない、少人数学級実施を求めない教育行政の冷たい姿勢。

江戸川自由民主党(賛成)

区民の生命・財産を守る災害対策や福祉・子育て事業に積極的に取り組むなど、所期の目的を十分に果たしたものと評価し、平成27年度江戸川区各会計歳入歳出決算に賛成する。

[主な要望]

- カヌースラローム競技場の建設について、東京都と緊密に連携し、区民に説明しつつ、周辺整備を含めて魅力ある会場づくりを。
- 全小学校への防災井戸の整備と防災井戸の存在について周辺地域の住民に周知徹底を。
- 区内分譲マンションの早期耐震診断を。
- 区民の需要と供給が合うよう、高齢者向け賃貸住宅の適切な運営を。
- 容器包装プラスチックのリサイクル回収量の低い地域に対し、資源リサイクルの協力啓発と区民への周知徹底を。
- スポーツ夢基金について、多くの方にチャンスを与えられるよう支給対象者枠の拡大を。
- 青少年の翼事業に金銭的理由で参加できない方に対して、貸付を行うなど柔軟な対応を。
- 認知症で介護が必要でありながら、自分自身で判断できない方に対して、社会福祉協議会と連携し、地域で見守る体制の構築及び「なごみの家」の周知徹底を。
- 妊産婦歯科健診受診のさらなる啓発を。



妊産婦歯科健診

- 児童相談所の設置に向け、子ども家庭支援センターの位置づけと早期の移管を。
- 松本橋架け替えについて周辺道路の整備に協力いただけるよう地域に丁寧な説明を。
- 学校の統廃合について区民の方の誤解を招くことのないよう、地域への十分な説明を。

江戸川クラブ(賛成)

新しい公会計制度によるさまざまな事業の「見える化」などを評価し、また、28年度以降も全国の自治体の手本となるよう期待し、平成27年度決算を認定する。

[主な要望]

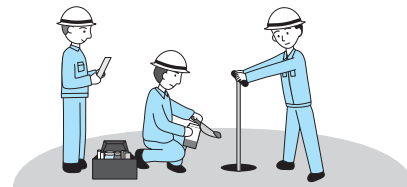
- 女性消防団員や外国人消防団員の入団を視野に入れ、消防団員募集の取り組みを。

○入札制度の根本思想の「区内業者育成」についての検証と制度の抜本的見直しを。

○区内図書館での除籍の判断基準について図書選定者個人の思想が反映されることのないよう、適正な資料構成を。

○「えどがわ」のご当地ナンバーの導入を。

○南葛西の土壌汚染問題について、現時点での汚染範囲や原因物質、区民生活への影響など、正確な調査と情報開示を。



南葛西の土壌汚染の調査

○東京オリンピック・パラリンピック開催に向け、WHOの受動喫煙防止策等を参考に公共の場での喫煙規制の実施を。

○認可外保育園を利用している保護者に対して、負担軽減策の実施を。

○江戸川区住宅等整備事業における基準等に関する条例による規制の意義と効果の早期検証を。

○スーパー堤防事業について、そこに暮らす生活者を置き去りにしない努力の継続を。

○子どもたちに社会に適応できる力、生きる力が備わるよう、さまざまな学力格差対策を。

生活者ネットワーク(賛成)

財政努力に鑑み、平成27年度決算を認定する。

[主な要望]

- 学校私費会計の給食費は、会計の適正化、予算執行の責任の明確化のために公会計化を。
- 区内スーパー堤防地で豪雨による道路冠水・通行止めが起きている。工法の検証を。
- ひとり親家庭の実態調査を行い、ニーズを検証、必要な人へ支援が届く仕組みづくりを。
- 熟年相談室中心の認知症SOS模擬訓練を。
- 障がい者福祉事業所向けの研修の実施を。



ひとり親家庭への支援

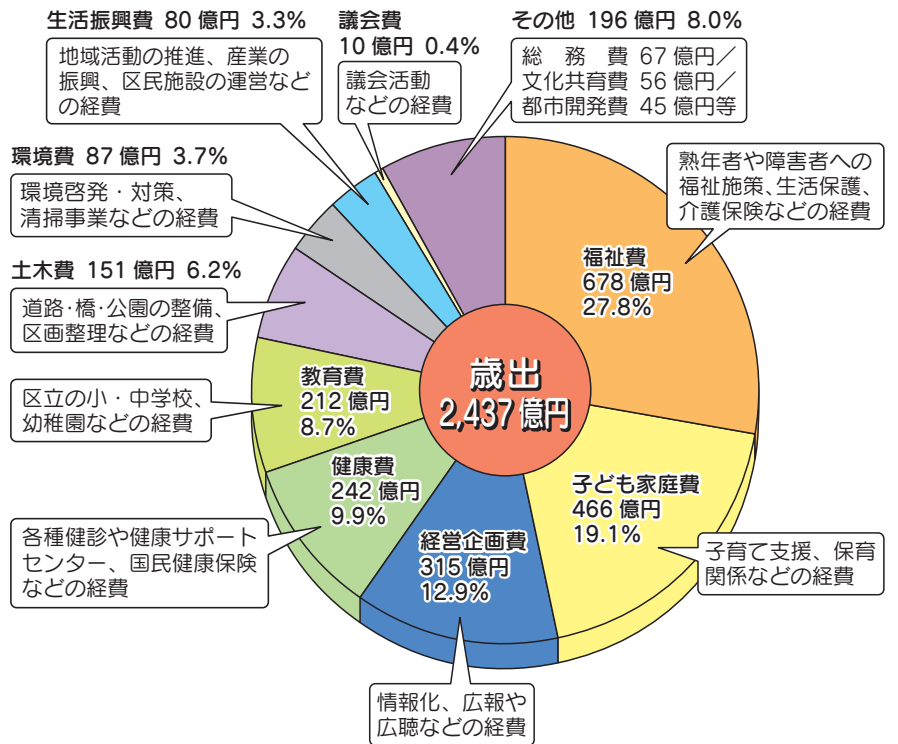
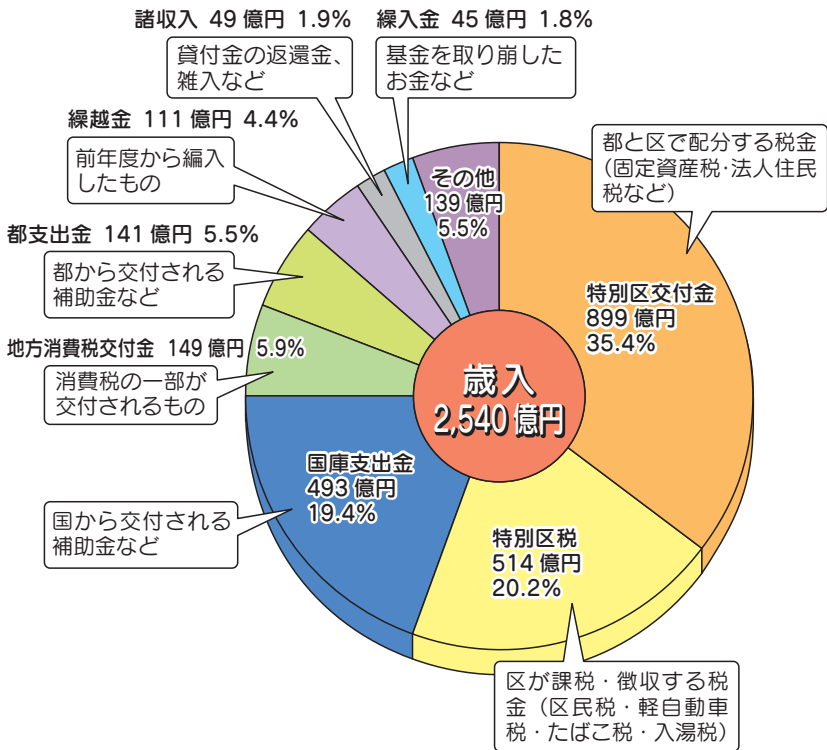
「i広報紙」の名称変更について

お住まいの地域の広報紙などをスマートフォン・タブレット上で気軽に閲覧できる「i広報紙」がリニューアルし、名称が「マチイロ」に変更されました。

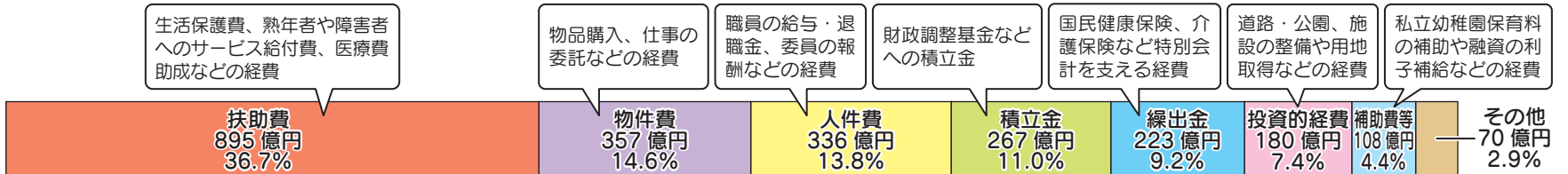
※「i広報紙」をご利用中であれば、新たにインストールの必要はありません。

平成27年度各会計歳入歳出決算のあらまし

一般会計



歳出の性質別内訳



金額及び構成比は表示単位未満を四捨五入しているため、合計と一致しないことがあります。

特別会計

国民健康保険事業特別会計	
歳入	858億円
歳出	842億円

介護保険事業特別会計	
歳入	371億円
歳出	362億円

後期高齢者医療特別会計	
歳入	112億円
歳出	110億円

議場コンサートの開催について

平成28年第4回定例会の初日に区議会議場においてコンサートを開催します。この機会に定例会を傍聴いただき、区議会をより身近に感じてください。

日時
平成28年11月29日(火) 12時10分から12時40分

演奏場所
江戸川区議会議場

演奏曲目(予定)
「Amazing Grace」 「Part of Your World」
「赤いスイートピー」 「夢みたものは…」
「The Christmas Song」 「遥かな友に」

その他
議場コンサートはどなたでも鑑賞することができます。
当日の正午から区議会事務局で受付をいたします。席数に限りがございますので、満席によりご入場いただけない場合はご容赦ください。

平成28年第4回定例会開催予定

11月29日(火)	本会議(議案上程、委員会付託)
12月1日(木)	本会議(一般質問)
2日(金)	本会議(一般質問)
5日(月)	常任委員会(議案審査)
6日(火)	各常任委員会(請願・陳情等の審査)
13日(火)	本会議(委員会報告及び表決)

※ 本会議は午後1時、各委員会は午前10時開会予定です。
※ 傍聴は、本会議は開会日当日の正午以降、各委員会は開会日当日の午前8時30分以降に区役所西棟3階の区議会事務局で先着順に受付しています。なお、定員がありますので詳しくは区議会事務局までお問い合わせください。

区議会だより編集委員会 (◎委員長 ○副委員長)

◎ 川瀬 やすのり	○ 田中 寿一
ます 秀行	中里 省三
はやかわ 和江	小俣 のり子